

NPO法人 熊本まちなみトラスト 第52回理事会(2021-08-23)

氏名	理事会	出席	委任
出欠予定	210426	出席	出席
	出欠	人数	人数
1 青木勝士	○		
2 麻生田栄壽	○		
3 伊藤重剛	○		
4 磯田桂史	× 事務局長		○
5 磯田節子	○		
6 岡裕二	× 議長		○
7 工藤栄一郎	× 理事長		○
8 幸田亮一	× 事務局長		○
9 古賀輝	× 理事長		○
10 西郷正浩	× 理事長		○
11 柴田祐	× 理事長		○
12 竹田宏司	△ 議長		○
13 田中尚人	× 議長		○
14 鄭 一止(いるじ)	△		
15 辻 泰明			
16 豊永信博	○		
17 長野聖二			
18 西島真理子			
19 富士川一裕	○		
20 松波大仁	○		
21 三國隆昌	○		
22 宮野桂輔			
23 矢野和之	× 理事長		○
24 山田穰	△ 事務局長		○
1 荒木幸介			
2 齊藤修			

出席理事人数

7

11

(+委任状出席10=18)理事総数24×1/2

熊日210821

◆議案事項

- 1 9月予定野の例会@川尻の中止について
- 2 事務局移転Bスタでの試行事業について
- 3 新しい広報誌のスタイル(News Letter)について
- 4 KMT活動の中期戦略について

◆報告事項(前回理事会6/28からの出来事)

報告1. 地域遺産ファンクラブ発足の延期
ファンクラブ準備会7/13@文林堂
→8/3@わさもんキッチン(新町)→次回は?
準備会→10/24 第1回まち歩きで発会する

報告2. 日本財団、J-Coin基金からの助成期間の特例的延長(コロナ禍のため)
J-Coin基金...6月末までに終了見通し...決算完了→事業報告 済み
日本財団...事業完了の未だ見通したたず

報告3. 定款変更(事業内容に「地域遺産ファンクラブ活動」を明記)
7/30熊本市の定款変更認証→8/12法務局への定款変更申請

県文化協会
荒木精之記念文化功労者
地域文化貢献の3氏

県文化協会(村上輝和会長)は20日、地域文化の振興などに貢献した県内在住者を顕彰する2021年度荒木精之記念文化功労者の3氏を発表した。

受賞者は、映画館「Denkikan」前会長の窪寺雄敏さん(83)、熊本市中央区、1級建築士の古川保さん(74)、同市南区、近世史研究家の豊田勝彦さん(82)、八代市。県文化懇話会世話人らの推薦を基に、6月の選考委員会を選んだ。

窪寺さんは「Denkikan」3代目。公会堂の耐震補強工事でも手腕を振るった。豊田さんは高校教師時代から「八代古文書の会」を主宰し、八代に關係する史料を編さん。永青文庫や松井文庫、地域に残る古文書の発掘や解説を続け、多数の著書を出しながら、熊本市の近世史研究に大きく貢献した。

古川さんは古川設計室会長で職人集団「川尻六工匠」代表。新築住宅建設や古民家再生を手掛けながら、歴史的な街並みを保存する活動も続けている。熊本地震で被災した川尻に創設。これまでの顕彰者は46人。新型コロナウイルス感染症拡大のため、顕彰式の開催は未定。(魚住有佳)

川尻での例会(研究会)は、下記がベースとなる

NP0 法人熊本まちなみトラスト年次総会 2021 交流会【案】

2021 (令和 3) 年 5 月 22 日 (土)

於 川尻公会堂

Program

はじめに 13:30-13:45 川尻公会堂の解説

◆交流会 15:00-16:30

テーマ「歴史を活かした川尻のまちづくり」

1. 講演:

1) 熊本市都市デザイン課「くまもと歴史まちづくり計画」(20 分)

熊本市都市デザイン課・栗田課長

2) 熊本市文化財課「国史跡 熊本藩川尻米蔵跡の改修と活用策」(20 分)

熊本市文化財課・北野課長

2. トークセッション (60 分)

主旨: 熊本のまちづくりのモデルとして川尻を学ぶ

パネリスト: 古川保、村田幸博、栗崎剛の川尻在住の3氏+上記熊本市職員

聞き手: 富士川一裕 (熊本まちなみトラスト事務局長)

3つの問い:

①長期にとらえて、次世代に語り継ぐべき「川尻のまちづくりの経緯」は何?

②それを踏まえた、これからのまちづくりの長期的展望は何?

③今現在の活動の課題は何? (若干の紹介も踏まえて)

◆まち歩き 16:45~18:00

国史跡 熊本藩川尻米蔵跡 等

★駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

川尻公会堂は JR 川尻駅から徒歩圏内にあります。

★マスクの着用をおねがいいたします。

★コロナ禍のために中止になることもありえます。その都度変更連絡いたします。

2. 事務局移転に関して

1. これまでの決議

年次総会 2021 議案議決

- ①2021 年度予算の考え方
- ②2021 年度予算案 50 万円

2. 事務局の行動計画

(1) 事務局移転の準備

- ①移転し携帯すべきアクティブ・ファイル(紙ベース)
- ②移転し携帯すべきPCとデータ(外部外付メモリ)
- ③データのクラウド化(GOOGLE DRIVE)

(2) Bスタとの契約(試行事業として)

- ①期間:9 月中旬～12 月中旬
- ②使用条件:利用者、
- ③賃料をはじめとする経費

(3) 移行プログラム

- ①事務局員の常駐時間帯: 例えば・・・木・金・土の 10:00～17:00
- ②Bスタでの 理事会 10/25、例会・研究会(11/22) 開催 予定日
- ③Bスタでの事務局・会員による共同作業・・・袋詰めなど
例えば、広報誌 ……News Letter(簡便にして頻度上げる) 【別紙】
会員との相互交流を高める

3. 再度 コンセプトの確認

- ①現事務所、事務局長の限界(いつかは使えなくなる)
- ②現事務所の立地条件(街なかでないのでチョッと寄りにくい／学生さんとかも)
- ③KMT資料の継承(富士川事務局長独占状態からの開放(誰もがアクセスできる))
- ④DX(デジタル化)へも対応
紙DATA／PC接続DATA(外付けストレージ)／クラウドDATA(サーバー)
- ⑤事務局運営の普遍化、KMTの生き残り

押し売りしない継承

(参考) Bスタ利用イメージ ※要協議

- ①B スタの法人会員となり、複数の理事が自由に出入り
できる権利を獲得
- ②営業時間:9:00～22:00(最終入館 21:00)
休館日:日曜、祝日、年末年始
- ③打合せには有料、無料の部屋(スペース)があるので、
人数に応じて理事会、例会は可能

4 KMTの中期戦略を考える

KMTの役割、活動コンセプト、戦略（8/16 運営会議の意見をもとに）

（1）KMTの社会的役割

対外的にシンプルに表現できていることが必要

①結末点 （NPOを支えるNPO）支えるKMT独自の方法 そこがポイント

【追】・支援するではなく活性化する・・・というところなのだが、これが行政と共同行動ができにくい要因であるかもしれない
社会の持続可能性（SDGs）のためには必要

②触媒、連携・ネットワーク

達成されると無かったことになるので評価されない

③敢えて他のセクターとの役割りを比較してみると・・・

行政が担う公共： 計画し予算化しなければ動けない事業、上からの指示

←→ NPOが担う公共： 計画できない予算化できない事業も、下からの積み上げ

報道が担う広報： 事実の広報

←→ NPOが担う広報： 物語の広報（ノンフィクション）

大学が担う研究： 学問に重点 ←→ NPOが担う研究： 実践に重点

④将来、未来に向けて何をしようとしているのかを明らかにすべし

・歴史的建造物の保存活用がいい街・地域をつくっていくことにつながる

・・・ので、それをサポートする

（2）企業へのサービス

①歴史的建造物の保存活用がいい街・地域をつくっていくことにつながる

ことは、企業活動、社員の生活基盤にとってのプラス要素（促進剤）となる

②企業の存立基盤である『地域』との信頼関係を切り結ぶことにKMTがお役立つ

（3）参考事例

①横浜 公益社団法人横浜歴史資産調査会

②奈良 公益社団法人奈良まちづくりセンター